

ごみ処理の有料化に関する説明会

1 日 時：令和3年7月13日(火) 午後7時～8時20分

2 場 所：今井コミュニティーセンター

3 出席者：40人

4 次 第

(1) あいさつ

(2) ごみ減量啓発動画の視聴

(3) ごみの有料化(案)の説明

(4) 質疑応答

Q：ごみを有料化すると、なぜ1割もごみが減るのか？

A：ごみ袋の値段が高くなると、なるべく使用する袋の量を減らそうとして、容器包装プラスチックや雑紙などを、しっかりとリサイクルするようになることで、ごみが減ることとなります。

Q：新しいごみ袋は、透明で、記名式になると聞いたが本当か？

A：透明で、記名式ということはありません。今、予定しているのは、メロンカラーです。記名式につきましては、かなり減量効果があるというのは分かっていますが、今はしないという考えです。

Q：透明な方が、缶などの不燃ごみが入らないので良いのではないか？

A：これから袋について、具体的に決めていく中で、参考とさせていただきます。現在の袋は、磐田市と同じ色で、磐田市の袋でごみを捨てられるとのご意見も伺っておりますので、色を変えたいと考えております。

Q：カーボンニュートラル、それから46%の削減目標が国から示されている。袋井市も当然やっていくということか？有料化で収入が増えるということだが、その収入で温室効果ガスを削減していくという考えか？

A：46%温室効果ガスを削減することは、並大抵なことではなく、考えられる全てのことを行い、そこを目指していきたい。そのためには、新たな費用も掛かるので、有料化による収入をそれに充てていきたい。

Q：プラスチックごみがあった方が、ごみがよく燃えるのではないか？

A：ごみのどこに、プラスチックが入っているのかは分かりません。ごみが燃えたり、燃えなかったりでは、処理がうまくできないため、助燃材のコークス(石炭)を安定的に処理できるだけ入れることとなります。そのため、ごみの量が増えたことにより、コークスの使用量は、むしろ増えてしまいます。

Q：生ごみの割合が増えると、コークスの使用量が、増えてしまうのではないか？

A：中遠クリーンセンターでは、生ごみよりもカロリーの低い下水汚泥の処理も安定的に行えており、生ごみの割合が増えたからといって、今よりもコークスの使用量が増えてしまうことはありません。

Q：生ごみ処理機の補助金はあるのか？

A：生ごみのリサイクルについても、市民皆さんにお願いしたいと考えておりますので、ごみ処理の有料化に合わせ、令和4年4月から行いたいと考えております。

Q：過去には収集袋は紙製だった。燃やすのにも、やぶれないように水切りを行うことも、ビニールより環境には良いと思うがどうか？

A：確かに、紙袋の方が環境には良いと考えます。ただし、濡れて破れてしまうなど、極めて評判が悪かったため、今のビニール製となっています。今後、いろいろと調べてみて、何か良いものがあれば、検討させていただきたいと考えます。

Q：雑紙とはどういうものか？

A：使用済みの紙おむつやティッシュ、キッチンペーパーなど、汚れている紙以外は、雑紙としてリサイクルできます。

Q：ごみの収集カレンダーに、そのことを載せてほしい。

A：そうさせていただきます。

Q：テレビで、紙やプラスチックのリサイクルがうまくできていないと言っていたが、大丈夫なのか？

A：中国が、紙やプラスチックごみの受け入れをやめたため、リサイクルがうまくできていないとのテレビ報道がされています。紙については、トイレットペーパーで再利用させる能力は十分にあるので、問題ありません。また、プラスチックごみは、容器包装プラスチック協会を通じ、国の計画に基づいたリサイクルを行っているので、こちらも問題ありません。

Q：有料化により、不法投棄が増えるのではないか？また、集積所に可燃ごみなどが出されており、自治会役員が対応している。有料化にあたり、自治会役員に迷惑がかからないようにお願いしたい。

A：不法投棄は、パトロールの強化をさせていただきます。それから、自治会にご負担をかけていることは十分承知しておりますので、その良い解決策については、また相談をさせていただきたいと思えます。また、集積所のごみを処理するために、ごみ袋を使ったり、奉仕作業で使用したりした場合は、無償でごみ袋を提供させていただきます。

Q：有料化はしないとだめなのか？啓蒙活動だけではだめか？

A：啓蒙活動でごみが削減された場合であったも、有料化により、さらにごみが減るのであれば、46%温室効果ガス削減を目指し、有料化をさせていただきたい。

Q：販売する側の過剰包装についても、働きかけをお願いしたい。

A：検討させていただきます。